

引用文献

- J. Costa (1988): Floods From Dam Failure, Flood Geomorphology, p. 436-439
- 石川芳治、井良沢道也、匡尚富 (1992): 天然ダムの決壊による洪水流下の予測と対策、砂防学会誌、Vol. 45、No. 1、p. 14-21
- 小田晃、水山高久、長谷川祐治 (2007): 天然ダム決壊の模型実験、砂防学会誌 Vol. 60, No. 2, p. 33-38
- 建設省 (1992): 建設省総合技術開発プロジェクト災害情報システムの開発報告書第Ⅲ巻基幹施設編、p. 353-380
- 国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター砂防研究室 (2007): 砂防基本計画策定指針 (土石流・流木対策編) 解説、国土技術政策総合研究所資料第 364 号、p. 46
- 国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人土木研究所、独立行政法人建築研究所緊急調査団 (2008): 平成 20 年岩手・宮城内陸地震の緊急調査速報、土木技術資料 Vol. 50, No. 8, p. 4-7
- 高橋保 (1982): 土石流の停止・堆積機構に関する研究 (3) -土石流扇状地の二次侵食-、京都大学防災研究所年報第 25 号 B-2、p. 327-348
- 高橋保、中川一 (1992): 自然ダムの越流決壊によって形成される洪水の予測、京都大学防災研究所年報第 35 号 B-2、p. 231-248
- 高橋保 (2004): 土石流の機構と対策、近未来社、p. 157
- 高橋保 (2004): 土石流の機構と対策、近未来社、p. 127-129
- 田畑茂清、池島剛、井上公夫、水山高久 (2001): 天然ダム決壊による洪水のピーク流量の簡易予測に関する研究、砂防学会誌、Vol. 54、No. 4、p. 73-76
- 水野秀明、小山内信智、沖中健起 (2006): 天然ダムの湛水池への段波の突入による水位変化に関する影響に関する研究、国総研資料第 333 号、p. 27-32
- 水山高久、石川芳治、福本晃久 (1989): 天然ダムの破壊と対策、土木技術資料 Vol. 31, No. 11, p. 50-56